□□□□

□□□

□□□

□

□□□

「入学金や授業料ではなく、交通費などの補助があった」

などのコメントをいただきました。

□

以上を踏まえると、全く補助がない会社が約**3**割、何らかの補助をしてもらえる会社が約**7**割

というのが、相場なのかなと感じました。

□

会社に在籍したまま進学した人はどのくらいいる?

では、会社に在籍したまま博士課程など大学院へ進学している人は実際どのくらいいるのでしょうか。

そこでまずは、ツイッターの回答者ご自身について

「会社に在籍したまま大学院へ進学・在学した経験」

をアンケートで聞き取りました。

結果はこちら↓

> 企業の研究職の皆様、入社後に会社に所属したまま大学院へ進学・在籍した経験はありますか?
>
> ー とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) May 7, 2023

約2割の方は進学経験があるようですね。

この結果だけ見ると、研究所の5人に1人が進学している計算になります。

なんとなくですが、多い気がしますね。

□

そこで、少しアンケートの質問を変えました。

「会社に在籍したまま博士課程へ進学している**or**していた人は（ご自身を含めて）社内にいますか? 」

という形で、社内に博士進学経験者がどのくらいいるかを答えてもらいました。

結果はこちら⬇

> 企業の研究職の皆様、会社に在籍したまま博士課程へ進学しているorしていた人は、（ご自身含めて）社内にいますか?
>
> — とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) May 11, 2023

7割以上の人が

「うちの部署に社会人博士に通っていた人がいるよ」

と回答していました。

□

先ほどの質問と併せて考えると、

「会社に在籍したまま博士進学した人が、普通にいる」

というのが、少なくともこのアンケートに回答した人の会社では一般的なようですね。

「本当は大学院へ行きたい」と思っている人は、どのくらいいる?

会社に在籍したまま大学院へ通うことについて、会社も肯定的に捉えているし、実際部署内には経験者がたくさんいる。□

このような状況であれば、

「自分も会社に在籍したまま博士とりたい! 」

と思う人がたくさんいてもおかしくありません。

そこで、

「博士号を取っていない皆様、働きながら博士を取りたいですか? 」

というアンケートを取り、潜在的な博士希望者を調べてみました。

結果はこちら⬇

> 企業の研究職で現在博士号を持っていない皆様、働きながら博士号を取得したいという希望はありますか?
>
> — とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) May 10, 2023

今回のアンケートでは、潜在的な博士希望者が約7割いるという結果になりました。

研究職として働いている以上、早いうちに博士号を取りたい、できれば会社に在籍したまま取りたい!

というニーズは結構あるようですね。

博士を取得できた年齢は? 何年かかった?

次に、実際に社会人博士を取得した方を対象に

「社会人博士を取得した年齢と要した年数」

について聞き取りました。

どのくらいの年齢で取得したのか。進学から取得までどのくらいかかったのか。

現在進学を考えている方には参考になる情報ではないでしょうか。

まずは、

「社会人博士を取得したときの年齢は? 」

というアンケートを取りました。

結果はこちら↓

> 企業の研究職で入社後に博士号を取った皆様、取得した時の年齢を教えてください。
>
> — とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) May 14, 2023

20代~30代前半で取得している方が多いようですね。

私自身も経験して感じましたが、「博士を取るなら、早い方がいい! 」です。

実際、若いうちに取得されている方が多いようですので、

希望されている方は若いうちに手を挙げるのがいいでしょう!

□

では、会社に所属したまま進学した場合、何年くらいで博士号を取得できているのでしょうか。

□

博士後期課程は通常3年か4年のコースが多いですが、仕事をしながらの場合、スムーズに修了するのが難しいケースもあるかもしれません。

□

そこで、

「進学から取得まで何年かかりましたか」

という質問をしました。

結果はこちら⬇

> 企業の研究職で入社後に博士号を取った皆様、進学から取得まで何年かかりましたか?
>
> ー とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) May 12, 2023

やはり、3年・4年での取得は難しく、それ以上の期間をかけて修了された方がかなりの割合を占めていますね。

会社で働きながら博士号を取得することの大変さがこの結果からも感じられます。

□

一方で、3年未満で修了された方もいらっしゃいました。

大学によっては、論文博士や早期修了制度など、短期間で博士号を取得できる制度を設けている大学もあります。

筑波大学が早期修了制度を開始しているのは有名ですね。

https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-s-program/

博士持っていて、業務で役に立ったことはあるか?

そして最後に、

「博士持っていて、業務で役に立ったことはあるか? 」

という質問をしてみました。

結果はこちら⬇

> 企業の研究職で博士号をお持ちの皆様、業務の中で「博士を持っていてよかった」と感じたことはありますか?
>
> ー とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) May 13, 2023

約半数の人が「役に立った」と答えています。

□

私自身の経験では、以下の場面で博士号そのものが活きたかなと感じています。

・海外の研究者と話をする時

・新たな共同研究について、共同先の先生と話をする時

・研究職として転職活動をする時

□

「活かされる場面、あまり多くないな…」

そう感じた方もいるかもしれません。

確かに、業務上で博士号そのものが活かされることはあまり多くないかもしれません。

□

一方で、博士号研究者としての資格のようなものですし、何より、博士取得までのプロセスは研究者としての自身の成長に役立つはずです。

□

博士を取りたいという強い希望がある方は、ぜひ社内の調整をクリアして、進学を勝ち取ることをお勧めします。

終わりに

今回は

「企業研究職の社会人博士事情」

というタイトルで、博士号や社会人博士に関するアンケート結果をまとめました。

ご自身の経験や、ご自身の会社と比較して、今回のアンケート結果はどのように映ったでしょうか。

□

アンケートという性質上、あまり細かい聞き取りはできませんでしたが、企業研究職における博士や社会人博士の傾向として、ぜひ参考にしてみてください。

□

また、実際に社会人博士を取得した方は、私も含めて非常にたくさんいます。

現在社会人博士を希望されている方にとっては、経験者の体験談は非常に貴重だと思います。

□

私の社会人博士体験談を以下にまとめています。興味のある方はぜひ以下のリンクからご覧ください。

カテゴリー：社会人博士